

空とぶ汚染源 ドバト



平和の象徴といわれるハトも、そのフンや病原体の媒介などにより衛生的な面で問題があるだけでなく、精神的にも美観的にもさまざまな問題を引き起こします。

現在わが国では、カラスバト・キジバトなど10種類が生息しています。このうち人の生活に影響を及ぼす種類は、「ドバト」と呼ばれるハトで、都市化の進行にも順応して現在その数を増やしています。

ここでは、「ハト」のなかでも最も人間の生活に関係の深い「ドバト」について、その習性を知ることにより、お互いによりよい関係を築いていく方法を考えていきたいと思います。

ドバトの生態

からだの特徴

ドバトは、現在都市部で最も普通に見られるハトで、羽の色や斑紋はバラエティーに富んでおり、1羽として同じ羽色のものはありません。



ドバト

しかし頭部には共通した特徴があり、目が赤く、クチバシは短く、鼻には白い「鼻こぶ」があります。

生態と習性

「ドバト」は本来森林などには生息しない種類で、むしろ緑の少ないところを好み生息しています。都市部や工場地帯などは、その生息条件を満たしておりドバトの生活に適しているといえます。

繁殖期間は一定ではありませんが、春と秋に繁殖が

盛んになり、夏と冬には低下します。年間3～5回産卵し、1回に卵を2個生みます。卵～雛まで約20日間、巣立ちまでには約50日間かかり、生まれて半年くらいで繁殖が可能になります。1組の夫婦から毎年14～16羽の雛が生まれ、10～20年も生きると言われています。

巣は、神社・お寺・マンション・倉庫・工場・橋げたなど、風雨があたらず、敵の来ない安全な場所に作ります。巣は、小枝や針金などの身近な材料で、皿状の雑なものを作ります。

食べ物、豆やお米などの種子類を好んで食べますが、本来は雑食性です。近年では人がいろいろなものを与えるために、より雑食の傾向が強くなってきます。餌を求めるためには、かなり遠くまで移動することもあるようです。

主な被害

①排泄物による被害

排泄物の付着による金属の腐食や建物の汚損をはじめ、フンに含まれる各種病原体が塵埃などとともに空気中に拡散し、それを吸い込むことにより肺炎や脳膜炎を発病することがあります。(クリプトコッカス症)

②刺す虫による被害

巣からダニが発生し、人を刺したり皮膚炎を起こしたりします。

③騒音・悪臭による被害

群生・営巣することにより、鳴き声や羽音の騒音被害(安眠妨害など)が生じ



ワクモ

たり、巣のフン・死体・卵などが腐敗し、悪臭や害虫発生の原因になる場合があります。



フンによる被害状況

被害の対策

ハトは、鳥獣保護法の対象となっている鳥ですので、捕獲には都知事の許可が必要になります。巣だけを除去する場合には許可を必要としませんが、卵や雛がいる巣の除去には許可が必要になります。

このように、ハトはむやみに捕獲することはできませんが、以下の対策で被害をある程度おさえることが出来ます。

対策

①餌を与えない

餌を与えたりすると、その近辺に巣を作って繁殖してしまいます。また、近寄せないためには、清掃を頻繁に行い餌になるものを除去していただくことが大切です。

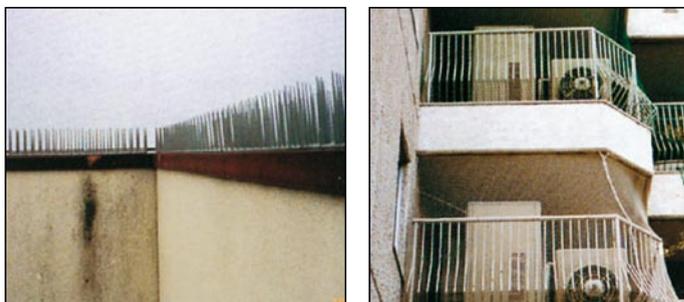
②巣を作らせない

巣は、家の軒下・倉庫内の鉄骨・ベランダなどの、風雨のあたらない場所に作ります。これらの場所を、ハトが巣を作りにくい構造、または侵入出来ない構造に変えます。

侵入出来そうな穴やスキマを塞いだり、ネットを張り巡らせるのも一つの方法です。

③とまらせない

ハトがとまる場所に、金属やプラスチック製の針状物がついた防鳥器具・ナイロン製のテグスなどを張り、とまれないようにします。



防鳥器具

④市販の防鳥具

ハトを寄せ付けないようにするものとして、目玉・風船・大型の鳥の模型・反射テープ・磁石・回転式の模型などが市販されています。これらのものは、いずれも慣れ・地域・地形・時期・気候の変化などに左右される場合が多く、効果がある場合と、そうでない場合があるようです。取付ける場合は、器具が落下して二次的被害が生じることがないように、取付場所・取付方法などよく検討する必要があります。

安全に気をつけよう

この様に、ハトの対策については個人レベルで行えることがたくさんありますが、ハトのフンの中には、前述のように各種の病原体が含まれています。フンが目に入ると炎症を起こしたり、吸い込むことで高熱が出たりする場合がありますので、巣を取り除く時などは、必ずマスク・防塵メガネなどの保護具を着用するようにして下さい。また、巣は高所にあり危険を伴う場合が多いので、無理をせずに害虫駆除業者等の専門家に相談する事をおすすめします。

発行 社団法人 **東京都ペストコントロール協会**
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2丁目9番8号
サトービル2F

TEL. 03 (3254) 0014

ネズミ・害虫・カビなどの御相談にいつでも応じます。
お気軽にお電話下さい。

社団法人 **東京都ペストコントロール協会**は、

有害な衛生動物を防除する専門業者が設立した公益団体です。

ネズミ、害虫のいない清潔な環境づくりのお役に立ちたいと願っております。

「ペストコントロール」とは、ネズミ、害虫などの有害生物を防除することをいいます。

- ペスト(Pest)は、有害な害虫や小動物、つまりネズミ、ハエ、カ、ゴキブリなどのこと。
- コントロール(Control)は、予防したり、駆除したり、つまり防除のこと。